

全国書店員が選んだ

いちばん！

売りたい本



2026年本屋大賞

本屋大賞

ノミネート作品発表

書籍名五十音順

『暁星』

湊かなえ◆双葉社

『ありか』

瀬尾まいこ◆水鈴社

『イン・ザ・メガチャーチ』

朝井リョウ◆日経BP 日本経済新聞出版

『失われた貌』

櫻田智也◆新潮社

『エピクロスの処方箋』

夏川草介◆水鈴社

『殺し屋の営業術』

野宮有◆講談社

『さよならジヤバウオック』

伊坂幸太郎◆双葉社

『熟柿』

佐藤正午◆KADOKAWA

『探偵小石は恋しない』

森バジル◆小学館

『PRIZE—プライズ—』

村山由佳◆文藝春秋

本屋大賞とは、全国の書店員が自分で読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票して決める賞です。一次投票の結果、上位10作品が二次投票ノミネート作品と決定しました。今後このノミネート作品を対象に二次投票を実施し、4月に「本屋大賞」を発表します。対象は24年12月1日から25年11月30日の間に刊行された(奥付に準拠)日本の小説(判型問わずオリジナルの小説)

Supported by



手帳ブランドNOLTY [ノルティ] は本屋大賞を応援しています。